

# 蒲生郡竜王町弓削水害履歴マップ① 水害のメカニズム / 水防活動・避難状況 / 地理状況 / 近年の河川管理

平成 30 (2018) 年 10 月 15 日 弓削コミュニティセンターで行った聞き取り調査に基づき作成

作成 関西大学 景観研究室 (蒲生郡竜王町都市計画地図上に作成)

**【水害のメカニズム】**  
 ○台風など河川の増水が見込まれるときには、河川からの逆流を防ぐため、地区内の計 3 箇所の樋門を全て閉める。その結果、堤内の水（内水）は排水されずに、地区内に溜まってしまふ。  
 ○日野川の水位が下がるまで、弓削の堤内に溜まった水は排水されないため、排水に 1~2 日かかる。  
 (樋門改修により最近排水されやすくなったが、それでも 1 日はかかる)

**【水害のメカニズム】**  
 日野川では北返し（北風）の影響で、水の流れが悪くなり、排水不良を起こす。

**【かつての水防活動・避難状況】**  
 ○昭和 30・40 年代くらいまでは、水防活動として木流しや土嚢積みを実施していた。  
 ○水防倉庫があり、そこに土嚢や杭、道具を保管していた。  
 ○水防活動時に数人がかりで杭を打つために、「たこ」という道具を利用した。  
 ○水防活動は、地区内で参加できる人全員で行っていた。(70~80 人くらい)

**【現在の水防活動・避難状況】**  
 ○下弓削の住民は浸水に対する警戒として、日野川の水位を確認している。  
 ○日野川堤防上の道路が集落内で最も高い場所であり、最後まで浸水することはないが、堤防決壊の恐れがあるため、避難路としては非常に危険である。  
 ○大雨時には樋門を確認しに行ったり、日野川の堤防上から川の様子を確認したりしている。  
 ○下弓削は他の地区に比べ低い位置にあるため、他の地区が避難する前に避難する必要がある。  
 ○浸水すると避難経路が確保できないため、浸水する前に避難することが決まっている。  
 しかし、トラクターや自動車を上弓削に移動させたりはするが、事前避難をしたことはない。  
 ○現在の一時避難場所は上弓削（弓削ふれあいプラザ）、二次避難場所は竜王町立竜王中学校である。



**【現在の水防活動】**  
 日野川堤防上から川と樋門の様子を確認している。

**【かつての水防活動】**  
 木流し用の樹木を伐採していた。

**【かつての水防活動】**  
 木流し・土嚢積みを行っていた。

**【かつての避難状況】**  
 上弓削の方まで浸水したという記憶・記録はこれまでにない。  
 ※明治 29 年の水害を受け、下弓削の住民が、それまで浸水被害のなかった今の上弓削地区に移り住んだ。

**【地理状況】**  
 下弓削より上弓削の方が標高が高い。(車で走るとわからない程度であるが、自転車で上弓削のほうまで行くのは大変)

**【地理状況】**  
 上弓削でも一部は浸水したが、標高の低い下弓削側に排水されていた。

**【地理状況】**  
 梅雨時期に田地が浸水する程度の水が、5 年に 1 度くらいの頻度で発生していた。しかし、嵩上げていたため、家屋が被害を受けることはなかった。

**【地理状況】**  
 下弓削の嵩上げされた宅地と周辺の道路では地盤の標高差があり、家の表側は浸水しても、裏側はしない場合がある。そのため、車を敷地内のガレージに停めている浸水しないが、道路上に停めていると浸水する恐れがある。

**【地理状況】**  
 日野川の堤防に上がる道は、平成 15 年に舗装された。

**【地理状況】**  
 現在は撤去されている。

**【地理状況：現在の中津井川の樋門】**  
 昭和 63(1988) 年 3 月改修



**【水害のメカニズム】**  
 土地改良以降、堤内河川が改良されたため、中津井川の樋門から排水しやすくなった。

**【かつての水防活動・避難状況】**  
 事前避難をする習慣がなかったため、水害の際は須恵付近が孤立してしまっていた。そこで、孤立した人々を旧公民館（遊園地）に置いてあった田舟でよく救出しに行った。

**【地理状況：現在の農業用水路の樋門】**  
 昭和 6(1931) 年改修  
 (木造からコンクリートへ改修)



**【地理状況：現在の新川の樋門】**  
 昭和 58(1983) 年 8 月改修  
 (内水を早く排水するため)



**【地理状況】**  
 ○昭和 45(1970) 年起工、昭和 50(1975) 年竣工の土地改良により、地区内の道路が盛り土された。このため近年の浸水の際には、水が道路のところ一旦止まり、水位が上がると、その水が道路を乗り越えて溢れ、集落に達する。  
 ○日野川の増水前に堤内の水を排水できるよう、県に要請して樋門改修を行った。その後の水害では改修の効果がみられている。

**【近年の河川管理】**  
 ○河川愛護活動として、地区で河川の草刈りを行っている。  
 ○田舟が今でも地区内に 1 隻残っており、平成 15(2003) 年には日野川に田舟を浮かべ、子供を乗せるという行事も行われた。  
 ○現在日野川下流右岸に土砂が堆積しており、早急に対応する必要がある。



弓削ふれあいプラザから約 1km (地図枠外)

0 50 100 150 200 250m